

出石中学校区 小中一貫教育だより

令和4年7月20日発行
第13号

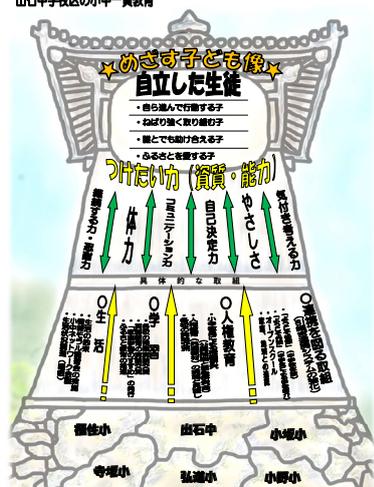


豊岡市では小中一貫教育として、コミュニケーション教育を小学校6年生で実施していますが、本年度より、小学校1年生でも「演劇ワークショップ」を行うことになりました。また、英語教育では、小学校のALT配置



↑コミュニケーション教育（福住・寺坂）

出石中学校区の小中一貫教育



↑ホームページに掲載

の回数を増やす（2学期から）ことになりました。

5月に、出石中学校区小中一貫教育に係る総会及び部会を開催し、今年度の取組の共通理解と具体的な内容について協議しました。

出石中学校区小中一貫教育のホームページができましたので、ご覧ください。

↓出石中学校区のホームページ



生徒アンケートから

今年度の小中一貫教育児童生徒アンケートの集計結果をみると、95%の生徒が中学校生活を「楽しい」と感じています。昨年度比較で5%程度肯定的であることから、小中一貫教育の成果が表れている部分といえます。しかしながら「楽しくない」と回答した生徒が5%いることがとても気になります。生徒の心に寄り添いながら課題をつかみ、解消できるよう今後も取組を進めてまいります。

◎「中学校1年生のアンケート」結果から

	今年度6月	←	小学校6年生時
毎日の課題のこと	61.8%	←	71.8%
テストや成績のこと	51.3%	←	79.5%
先生の授業の教え方	18.4%	←	48.7%
先生の態度	23.7%	←	65.4%
生活のリズム	52.6%	←	48.7%

中学校1年生の回答からは、「新しい学級になること」「友達との人間関係」「先輩との人間関係」「先生との人間関係」の項目で、戸惑ったり、困ったりした生徒の割合が例年よりも多いことが分かりました。入学前と比較すると、「毎日の課題のこと」「先生の授業の教え方」などは、多くの生徒の不安や悩みが解消されています。しかし、心配なこととして「生活リズム」の項目が高くなっており、特に1学期は部活動と勉強との両立、忙しさ、疲れなど、思っていた以上に中学校は大変で不安を解消できず悩んでいることがうかがえます。



←小中一貫教育について、玄武岩の玄さんが柔らかく解説します(市)

●「家庭学習のすすめ」 出石町PTA連絡協議会、出石町青少年健全育成推進会議と連携して発行します。お子様の学力向上には、自ら学ぶ力の育成が大切です。そのためにも、ご家庭で、お子様の自主学習の目安としてご活用いただきますようお願いいたします。

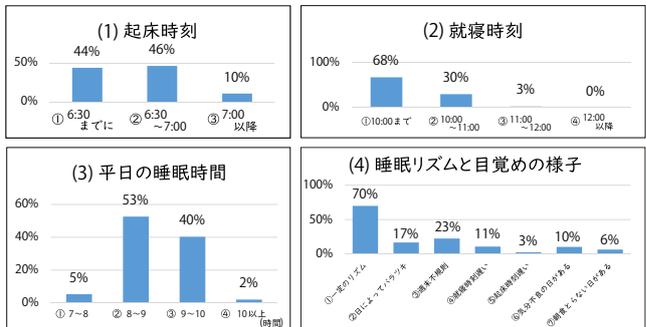
- ポイント1：学習時間を決めよう…習慣化をすれば、苦手なこともやりやすくなります。
- ポイント2：スマホやゲームの誘惑を断ち切ろう…自分の気持ちをコントロールする力が付きます。
- ポイント3：机の上に学習の世界をつくろう…環境を整えて効率アップを図りましょう。
- ポイント4：繰り返し学習で学習内容を身につけよう…基礎基本の定着を目指しましょう。
- ポイント5：次の日の授業の準備をしておこう…準備ができれば子どもの心にゆとりが生まれます。



●中1参観 6月に、小学校6年時の担任教員が、英語と保健体育、特別支援学級の国語の授業を参観しました。生徒たちが積極的に対話したり、集中して話を聞いたりしている様子を見ることができました。その後、情報交換会を行いました。中学校側から、「活発」「元気が良い」「落ち着いている」「不登校なし」などの報告を受け、旧担任は安堵していました。また、小学校ごとの懇談では、個別の具体的な様子について情報交換しました。中学1年生が「自立した生徒」になれるよう見守っていきたいと思います。

●「すいみんカード」 近年の睡眠研究により、子どもの「夜型生活」「質の良い眠りの不足」が、学習意欲や学力の低下、脳の睡眠リズム形成不全・睡眠障害・慢性疲労症候群など、さまざまな心身の不調につながる事が明らかになってきました。2月の実施の振り返りを見ると(児童)「いつもよりぐっすり眠れた。自分で意識して行動できた。」(保護者)「睡眠カードを書くことで、どれくらい寝たのか目に見えて分かり、意識した。」等、この取組が睡眠を見直し・考える良い機会となっています。よりよい睡眠リズムが習得できるようご協力をお願いします。

◎令和3年度小学校5・6年生



↑ホームページに掲載

●自然学校 出石連合として87名の児童が参加し、2泊5日で実施しました。前半の兔和野高原では、飯ごう炊飯や大カツラ見学、湧き水の試飲、キャンプファイヤー(右写真)などを体験しました。



後半は、神鍋高原で魚つかみ体験(下写真)とクラフトづくり、円山川公苑では猛暑の中、カヌー、カヤック、カッター体験をしました。5日間にわたり、仲間と対話し、協力して活動する中で、最後までやり抜いたり、自分をコントロールしたり、折り合いをつけたりする体験ができました。こうした非認知能力が発揮され、自分自身の成長を実感する良い機会になりました。